



地滑りによる大量の土砂が家屋を押しつぶしながら、国道まで流出。(上椎葉上区)

9月4日～6日にかけて本村を襲った大型で非常に強い台風14号。昨年続き、またしても大きな被害をもたらしました。4日から降り始めた強い雨は、6日までに総雨量1000ミリに達し、村内各地で大規模な土砂崩れや浸水被害が発生。中でも、中心部の上椎葉地区では大量の土砂が家屋などを埋めつくし、尊い3人の命が奪われました。

村内の多くで電気や電話が不通になるなど、ライフラインが昨年以上に壊滅。また、国道などすべての幹線道路が被災した影響で孤立状態が数日間続き、今もなお、あまりにも大きな被害のために車の通行が出来ない集落もあります。昨年の災害から1年経過し、復旧工事もほとんどが発注されるなど、めどが立っていただけに村民に与えた影響の大きさは計り知れません。

9月末現在で判明した被害額は187億円超。この額は村の予算の約4倍で、昨年被害額の2倍以上の規模となります。村では、被災者支援と災害復旧が当面の最優先課題として、各関係機関と協力しながら取り組みを急いでいます。





行方不明者を捜索するため懸命に作業を行う自衛隊や県警、消防団。全国から多くのマスコミも訪れ騒然とした雰囲気。



▶ 9月6日、浸水により上椎葉発電所が火災。現在も運転停止に。電気復旧のために九州各地から高電圧車などの作業班が集結。

■ 特集 台風14号災害

被害総額187億円超

村内全域に大きなつめ跡